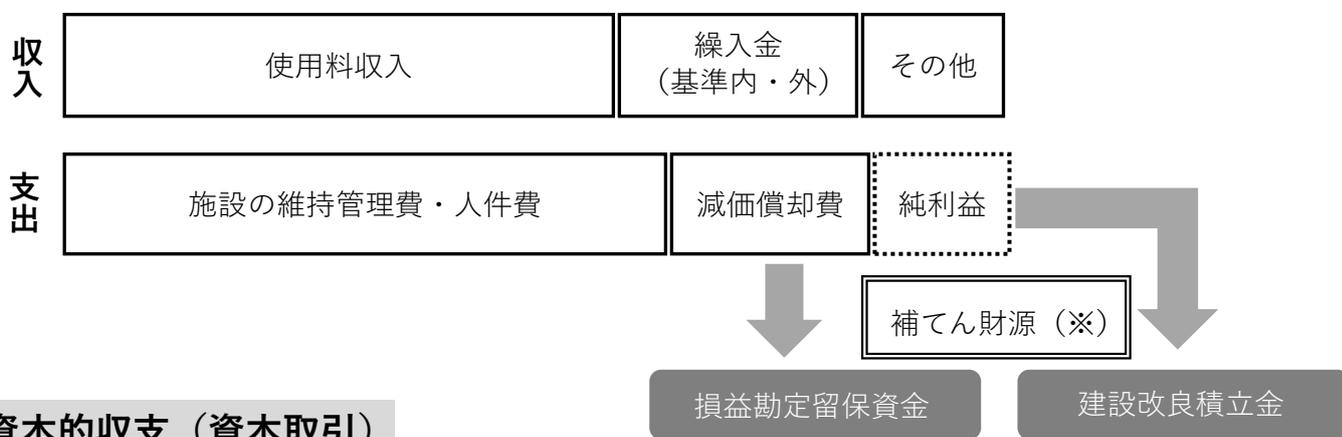


## 公営企業会計の特徴としくみ

- ◆ 公営企業会計（水道事業、下水道事業）は、事業収入を主な財源として独立採算制の原則により特定の事業を經理
- ◆ 経営状態や資産状況などの企業活動を正確に把握するため、官庁会計（単式簿記）とは異なる複式簿記を採用
- ◆ 損益計算書や貸借対照表などの財務諸表を作成することで、資産、負債などの財務状況や経営状態を把握することが可能
- ◆ 予算は使用料収入や施設の維持管理などに係る「収益的収支」と、施設の整備や改修などに係る「資本的収支」の2つに区分される

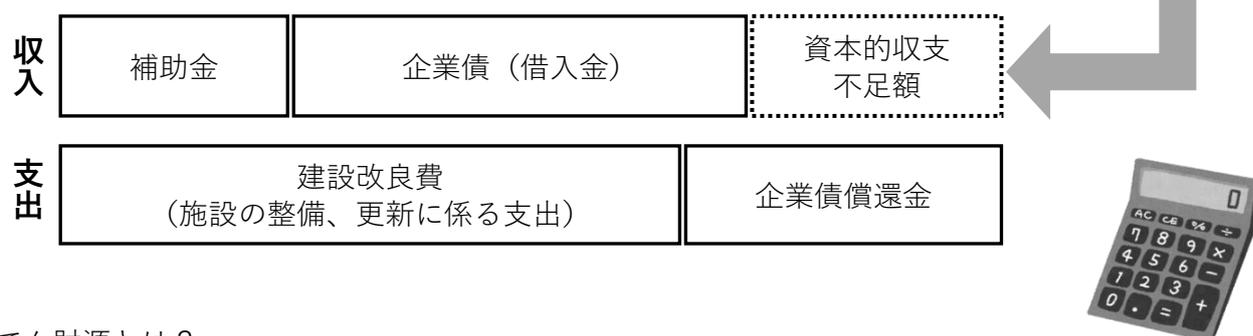
### 収益的収支（損益取引）

使用料収入や施設の維持管理（動力費、薬品費、修繕費など）にかかる日々の営業活動に必要な経常経費



### 資本的収支（資本取引）

企業債の借入や補助金収入、管路や施設の新設・更新費用や企業債償還金など、設備投資にかかる経費



※補てん財源とは？

資本的収支においては、基本的に収支不足（赤字）が発生するため、その不足分を補うための財源をいう。

補てん財源の主なものは

- 損益勘定留保資金…減価償却費など、実際に現金の支出を必要としない費用の計上により内部留保される資金のこと
- 建設改良積立金…建設、改良工事等に要する資金に充てるため、過去の収益的収支の利益（黒字）を積み立てたいわゆる「貯金」のこと